

科目名 (英文表記)	<b>アカウンティングI (財務会計)</b> <b>( Accounting I )</b>		
科目区分	基本科目	単位数	2 単位
担当教員名	簗本智之 戸 宸	ナンバリング	MBA_B_AC 5111
研究室番号	457 408	研究室電話番号	27-5347 27-5353
Eメール・アドレス	hatamoto@res.otaru-uc.ac.jp toshin@res.otaru-uc.ac.jp		
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載			
<b>授業の目的：</b> 本授業では、財務諸表を読解・分析にするにあたって必要となる会計の基礎知識を学びます。企業の経済活動は、複式簿記を通じて記録され、それらの記録が加工されさまざまな形態の会計情報として情報利用者に提供されます。本授業では、これらの会計情報がどのような意味を持ち、どのようなことが読み取れるのかについて基本的な知識を習得します。 金額は非常に具体的であるが、会計自体は概念の積み重ねであり、手で触れるものではなく抽象的なものです。そこで、講義では学習すべき点を絞って説明するだけでなく、履修者自らがケースを自らの手で分析し、全体やグループ討論を行ってもらうことで概念や分析ツールを習得してもらいます。			
<b>到達目標：</b> 本授業の到達目標は以下の通りです。 (1) 財務諸表を読解し分析するにあたって必要な会計情報の意義と特徴を理解すること。 (2) 財務諸表の体系と意義を理解し、財務諸表を読解する基本的な力を身に付けること。 (3) 財務データを用いて企業を分析する基本的な枠組みと財務指標を理解すること。			
<b>使用教材：</b> 本授業での基本的な文献としては、 ・山根節・太田康広・村上裕太郎・木村太一『ビジネス・アカウンティング〈第5版〉：財務諸表から経営を読み解く』(中央経済社 2024年) ・小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのケース分析 (三訂版)』(同文館出版 2020年) を指定します。前者がメインで、後者は第7モジュールで使います。 また、その他の資料を適宜配布します。			
<b>成績評価の方法：</b> 提出課題 (35%)、授業で行うディスカッションへの参加 (35%) および試験 (30%) を総合的に判断して評価を決定します。 評価に不服のある場合には、不服申請書を以って、教務委員長に申し出てください。			
<b>履修上の注意事項：</b> ・本科目の授業開始に先立って、簿記の知識を殆ど有していない受講生のために、希望者のみを対象にして、プレ科目「企業会計の基礎」が実施されます。実施の詳細については、manabaの「企業会計の基礎」でお知らせします。 ・教室で Microsoft Excel を利用しますので、同ソフトをインストールしたノートパソコンやタブレットの持ち込みをお勧めします。OS やバージョン、サイズは問いません。 ・会計の学習は語学の学習と似ていて習うだけではなく慣れる必要があります。ディスカッションは慣れるための場所だと思ってください。			